

令和3年度調査・研究事業：継続・新規案件提案

～抜粋～

NO	提案会社名	標題	背景・問題点	提案する検討・調査の内容と成果物のイメージ
安継-3 (3-7)	【航空局】 安全企画課	【継続】 自発報告を含む安全情報の有効な利用に関する調査	<ul style="list-style-type: none"> ・安全を継続して改善するためには、多くのハザード（安全運航に影響を及ぼす可能性のある要因）及びその傾向を分析する必要がある。自発報告は、予防的安全対策を構築するために必須の情報源である。 ・現在、自発報告は第三者機関による分析と提言によって一定の成果を挙げているが、より効果的な安全対策の構築のためには、より多くの報告を有効に活用する必要がある。 ・平成29年度以降、本調査においては自発報告に係るデータ収集、分析、共有についての調査、諸外国における自発報告の促進活動を確認するための調査、自発報告の促進、共有を図るための方策及び課題の調査、ガイダンス作成等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自発報告の促進、共有に加え、自発報告を含む安全情報を有効に利用する方策を調査する。具体的には、世界的な動向を踏まえ、自発報告と義務報告のシームレスな安全情報を有効活用し効果的な評価及び分析手法を調査、検討する。また当該分析手法等を我が国に反映させるための方策及び課題の調査を実施する。 ・安全文化の醸成、自発報告の更なる促進について方策を提案する。

NO	提案 会社名	標題	背景・問題点	提案する検討・調査の内容と 成果物のイメージ
安継-3 (3-7)	【JAL】	【継続】 自発報告を含む安全情報の有効な利用に関する調査	<p>安全を継続して改善するためには、多くのハザード（安全運航に影響を及ぼす可能性のある要因）及びその傾向を分析する必要がある。自発報告は、予防的安全対策を構築するために必須の情報源である。</p> <p>現在、自発報告は第三者機関による分析と提言によって一定の成果を挙げているが、より効果的な安全対策の構築のためには、より多くの報告を有効に活用する必要がある。</p> <p>加えて、国と事業者が安全情報と安全性の分析結果を共有・交換することにより、それぞれの安全性能をさらに向上させることが可能となる*。</p> <p>※ ICAO Doc 9859 Safety Management Manual</p> <p>・平成29年度以降、本調査においては自発報告に係るデータ収集、分析、共有についての調査、諸外国における自発報告の促進活動を確認するための調査、自発報告の促進、共有を図るための方策及び課題の調査、また安全報告促進のためのガイダンス作成等を実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> これまで調査してきた「トータルシステム・アプローチ」による安全情報の評価・分析手法等を我が国に反映させるための具体的な方策および課題を調査し、その有効性を検証する。 本邦における安全情報と安全性の分析結果の共有・交換のネットワークのあり方を調査、検討する。

NO	提案 会社名	標題	背景・問題点	提案する検討・調査の内容と 成果物のイメージ
安継-4 (3-8)	【航空局】 航空事業 安全室	義務報告で収集 される HE に係 る安全情報の活 用促進の継続	<p>航空法第 111 条の 4 に基づき報告される義務報告（ヒューマンエラー関連）の一層の活用を図るため、関係する航空会社の合意の元、安全情報の保護にも配慮しつつ、参加航空会社の担当でヒューマンエラーに係る情報を共有し、その内容について一定の議論（評価・分析）を行い、より多くの航空会社で活用し易いアウトプットを作成することを目的として、運航、整備、地上取扱の各分野義務報告に係わる HE 事象に関する検討 WG が開催されている。</p> <p>昨今、コロナ禍を踏まえて運航便数自体は減少しているものの、そういった中でも航空機の保存整備等の取り組みは継続されているところであり、コロナ禍に特有のヒューマンエラー事象等も確認されていることから、この取組を継続することは有意義であると考えられることから、来年度も引き続き実施することとしたい。</p>	①航空会社、航空局、関係団体等を交えて HE 事象に関する検討 WG を運営・開催する。 ②開催にあたり、航空局が選定したヒューマンエラー事案について資料作成依頼等の調整を航空会社と実施する。